

タンクローリー事故多発

～事故は、**取扱者本人に大きな責任**が生じる～
後悔しないためにも、**取扱方法の再確認を！**

県内事故事例

◎『火災』 静電気に起因か

灯油の取扱中、突然火災となった(静電気による引火の疑い有)

(**死者1名(取扱者)、負傷者3名**)

静電気対策等を
確認しよう

【注意点】

- ・ 灯油を注油ノズル等で取扱う際にも、アースの設置等が必要
- ・ 普段は大丈夫でも、ちょっとした変化で、危険は増大！
- ・ 取扱い慣れた危険物(灯油等)でも改めて作業の確認を！



◎『違法給油』 軽油が河川流出

注油等の際、ウエスでノズルを開放固定し、その場を離れ、
軽油が漏洩。漏洩した軽油を洗い流し、河川に被害拡大

(**免状の取消処分に**)

注油等の取扱を
確認しよう

【注意点】

- ・ ノズルを開放固定した状態での注油等は違法
- ・ 取扱違反となり、行為者 本人が罰せられることも



◎『コンタミ』 荷卸し時の確認不足

誤操作で、ガソリン地下タンクに軽油を荷卸し、混油(コンタミ)

(**燃料、約20,000ℓが全て廃棄に**)

荷卸し手順を
確認しよう

【注意点】

- ・ 荷卸し時は、複数人で、油種・注入ホース接続の確認を！
- ・ 油種切替え時も同様に！

